

第 1 0 回  
武蔵野市立第一中学校改築懇談会

令和 5 年 2 月 2 8 日

武蔵野市教育委員会

## 第10回 武蔵野市立第一中学校改築懇談会

○令和5年2月28日（火曜日）

○出席委員

中嶋座長 岡田副座長 磯川委員 伊東委員 檜原委員 鈴木委員 坪井委員  
富岡委員 長嶋委員 日名子委員 平田委員 本郷委員 三原委員

○事務局出席者

西館教育企画課学校施設担当課長 木村副参事 井上課長補佐 齋藤課長補佐  
松本主任 雲川主事 渡邊主事  
設計者（3名）

○進行

### 1. 議事

- (1). コンセプトについて
- (2). 改築校舎・基本図面について（配置・平面・立面・断面）
- (3). 改築校舎・パースについて
- (4). 今までの意見への回答について
- (5). その他

---

◎事務局挨拶

---

◎議事(1) コンセプトについて

○座長 それでは、議事の(1) コンセプトについて、事務局より説明をお願いします。

○事務局 資料1をご覧ください。

第一中学校改築に当たり、整備する教育空間の考え方について、基本設計の際と変更はありませんが改めてご説明いたします。

まず、(1) 学習や教育の変化に対応し、主体的・対話的で深い学びができる施設です。

令和元年度に策定しました武蔵野市学校施設整備基本計画では、学校改築の前提として、これから市の学校教育に求められる目標と、施策の基本的な方向性を整理いたしました。そこでは、これまでも大切にしてきた「生きる力」を育む教育を一層推進するとともに、子どもたちが様々な変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力などを十分に身につけられるよう教育活動を展開することとし、この理念の下、施策の基本的な考え方の1番目に、「これからの時代に求められる資質・能力を育む教育」を掲げております。

このような教育理念の下、展開される学校での学びは、主体的・対話的で深い学びの視点から絶えず改善されていくものであり、一斉指導による学びだけではなく、個別学習、習熟度別・少人数指導、グループ学習など多様な指導方法、学び方が想定されます。また、多様な場における学びも視野に入れる必要がございます。

今後の学校施設整備の考え方といたしまして、学校施設整備基本計画では、「多様な学習形態を可能とする教室・教室まわり」、「主体的な学習活動を支援するラーニングコモンズの整備」などを掲げております。

2点目でございます。(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設として、文部科学省のほうで新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について、新しい時代の学びを実現する学校施設検討部会を設置し、令和3年8月に中間報告を示しております。その中の抜粋ですが、「School for the future、「未来志向」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する」としており、ICTの活用などにより、学びのスタイルが多様に変容し、校内のあらゆる空間が子どもたちの学びとなる可能性を秘めているですとか、子どもたちにとって、明日また行きたい学校となるために、またそこに集う人々にとっても、生き生きと輝く学校となるために学校施設全体を学びの場として捉え、魅力ある学び舎を創造していく必要があるとしております。

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方として、普通教室に可動式の仕切りを活用すること。そして、学校図書館を核として、読書・学習・情報センターとしての役割を持たせる「ラーニングコモンズ」の整備などを示しております。

(3)、3点目として、校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間整備についてです。国の

動向も踏まえまして、本市では、「校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間整備」を目指し、主体的・対話的で深い学びの活性化、個別最適な学び・協働的な学びを促す空間づくりを進めることといたしました。

学校図書館と多目的室からなる開放的なラーニングコモンズを中心に配置し、普通教室、特別教室などの学びの空間とつながるようサテライトコモンズですとか、学年コモンズを置くことで、校舎全体を緩やかにつなぐことを考えております。

裏面をご覧くださいまして、全体空間構成の考え方についてです。ここでは、校舎全体を緩やかにつなぐ学びの空間整備について囲みの中で整理をさせていただいております。

真ん中、(1)の動きのある学びの空間づくりといたしまして、以下、5点示しております。

一つ目、開放的なラーニングコモンズ、学年コモンズ、生徒の主動線となる大階段（一中ステップ）を校舎中央に配置し、廊下も含めて一体的に整備をしております。

ラーニングコモンズや一中ステップには、吹き抜けをつくることで、各フロアをつなぎ、学校全体を学びの空間として連続させております。

(2)をご覧ください。各教科の学習活動を支える機能空間づくりを整理しております。

南側に普通教室ゾーン、そして、北側に特別教室ゾーンを配置しております。特別教室につきましては、サテライトコモンズに隣接させております。普通教室や多目的室は全開放を可能とする多連引き建具、特別教室は収納量確保に配慮して腰上をガラスとした固定式間仕切りとしております。

次に、主な学習空間の考え方でございます。(1)にラーニングコモンズ、(2)に普通教室、(3)に特別教室を整理しております。

繰り返しになりますが、ラーニングコモンズにつきましては、学校図書館の機能にICT機器を活用できる環境を兼ね備え、集団での調べ学習や自習等に使用できる多目的室を併設したラーニングコモンズを整備しております。

普通教室は多様な学習形態を可能とするため、廊下側を可動間仕切りとして開放的な設えとしております。

学年コモンズ、学年多目的室は、各学年ごとに普通教室に面して、二教室分程度の広さのスペースを設けております。

そして、特別教室は、教科ごとの特性を踏まえた配置としております。

関連する特別教室ごとに教科の展示や学習スペースのある開放的なサテライトコモンズを整備しております。

最後のページは、校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間の使い方のイメージです。図面とともに解説を入れておりますので、お時間があるときに眺めていただければと思います。が、これは基本設計のときにもお示ししている内容でございます。

○座長 ただいまの説明の内容についてご質問、ご意見ありましたら、お願いします。

よろしいですか、この辺りは。では、議事(1)についてはここまでとさせていただきます。

す。

---

◎議事(2) 改築校舎・基本図面について(配置・平面・立面・断面)

◎議事(3) 改築校舎・パースについて

○座長 次に議事(2)改築校舎・基本図面について、それから議事(3)改築校舎・パースについて、併せて事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、基本図面についてご説明をいたします。資料の2をご覧ください。

1 ページ目は配置図となります。図面の上が北、文化会館側、それから下が南、大正通り側となります。

こちらの配置図は、第一中学校改築事業完了時の図面となります。事業完了は令和11年9月末の予定でございます。

新校舎棟と体育館棟は敷地北側に東西に配置し、西側体育館棟の南側にプール棟を配置しています。

校舎棟は地上四階建て、体育館及びプール棟は一階建てとなります。なお、音楽室棟はそのまま残す計画としております。

正門は、これまでの第一中学校と中央コミセンとの連携や交流を踏まえ、改築前と同様、西側に設け、正門前には街に開かれた広場、Machi コモンズを整備します。日常的には生徒の憩いの場として利用しますが、地域開放やイベント利用など多目的に使用できる空間として整備をいたします。また、体育館との一体利用も可能とすることや、一部、屋根を設けることで利便性を高めます。

校舎の南側には、西側正門から東側の東門まで直線的にメイン通路を設け、その南側には今までと同様に正形の校庭を確保しました。校庭は100メートルの直線走路と150メートルトラックが入る広さを確保します。

校庭の南側には、改築前とほぼ同位置に体育倉庫棟を整備します。

プール棟の南側には、テニスコート2面を整備いたします。

敷地西側のかたらいの道沿いには、緑地やベンチのある歩道状空地を整備し、生徒や地域住民の憩いの場所をつくります。

正門についても、景観に配慮しながら、安全で利用しやすい、また、第一中学校の顔となるよう整備いたします。正門の北側及び南側には、教職員及び来校者用の駐輪場を設け、一部屋根を設置いたします。また、駐車場については、プール棟の西側、専用の車両出入口を設け、歩車分離を図ります。

給食及びごみ収集車の搬入は、北東角に搬入門を設け、同じく生徒の動線とは分離しております。

現在校庭にある南門はそのまま残し、再塗装改修を行い、緊急車両やメンテナンス車両の搬入ルートを確認します。北門も同様に現状のまま残します。

次のページ、1階平面図をお願いいたします。

正門、東門から登校した生徒の主な動線は、校舎中央部にある南北の貫通通路から校舎内に入り、昇降口を経て、校舎中央の大階段、一中ステップより各階の教室へ向かいます。

なお、日常的に利用できる階段を校舎西側に配置し、避難時に使用する外階段を東側に配置しております。

一中ステップは1階と2階の間が座れる空間となっており、日常的には生徒の交流の場となり、また、イベント時には発表や集会の場といった使用ができる特徴的な空間となっております。

1階のゾーニングは、大きくは貫通通路の東側を学校エリア、西側は地域開放エリアとしています。東側の学校エリアには、職員室や事務室などの管理諸室を配置しています。校庭や正門への見通しがよく、生徒や保護者、来校者などがアクセスしやすい計画としています。また、昇降口に面して、車椅子やストレッチャー対応のエレベーターを設置し、各階にアクセスできる計画としております。

特別支援学級エコールームは学級特性を考慮し、普通教室とは一定の距離を置く1階に配置しております。特に、防音性を考慮した設えとしております。

家庭科室は、災害時の炊き出しにも利用できるよう、地域開放エリアに隣接して1階に配置しております。配膳室は先ほど配置図でご説明した北東角の搬入門に面して配置しております。

西側の地域開放エリアには、開放管理室や開放用多目的室、地域連携室、それから体育館や地域開放利用者が使用するトイレなどを配置しております。地域開放利用者はセキュリティの関係上、貫通通路入り口とは別に入り口を設けております。

校舎棟の西側は体育館棟です。開放用ロビーから出入りができ、南側のMachi コモンズに面しても出入り口が設置されていますので、イベントなどでMachi コモンズと体育館の一体的な利用も可能としております。

体育館棟には屋内運動場のほか、地域開放用更衣室、器具庫などを配置しております。

左下の図はプール棟です。最後の7ページ目になりますけれども、詳細図がありますので、内容についてはそちらでご説明いたします。

次のページ、下の図が2階平面図となります。

校舎の中央には一中ステップ、その西側にはラーニングコモンズ、東側には学年コモンズが開放的に配置され、廊下を含めた一体的かつ開放的な空間としております。

校舎中央の大階段、一中ステップは1階から4階まで吹き抜けとすることで、各フロアをつなぎ、空間を連続させることで、校舎全体を緩やかにつなぐ学びの空間としての役割もあります。

ラーニングコモンズの学校図書館は、いつでも誰でも気軽に立ち寄れる開放的な図書館として整備いたします。隣接する多目的室は、多連引き建具を開放することで、図書館スペースと一体的な利用が可能な設えとなっておりますが、建具を閉めることで、集団での調べ学習や自習等にも利用できます。

また、ラーニングコモンズの上部は4階まで吹き抜けた二つの空間を設けており、4階の窓からは柔らかい光を取り入れることができ、また、吹き抜け空間を通して生徒が互いに見る、見られる関係から自発的な学びを促すような空間として整備いたします。

学年コモンズは、2教室分程度の多目的スペースとしています。個別学習、グループ学習、学年や複数学級での集会など、多様な利用形態で対応できる開放的な設えとしております。

校舎南側には、生徒の生活時間が最も長い普通教室を配置し、採光のため南側の窓を大きく確保し、明るく開放的な設えとしております。また、廊下側の多連引き建具を開放することで、隣接する学年コモンズと一体的な利用・連携ができるよう計画しております。

北側には特別教室の理科室を配置しています。特別教室の前には、開放的で気軽に立ち寄れるような設えとしたサイエンスコモンズを整備します。教科に関する展示や学習成果の掲示などが行えるスペースであり、教科への興味・関心を喚起します。

特別支援指導教室については、生徒が通いやすいよう一中ステップに近接させて配置しております。

トイレ及び水飲み場については、廊下の東側及び西側に配置しております。

上の図面、こちらは3階の平面図となります。

3階も2階と同様に、2年生の普通教室を校舎南側に配置しております。また、普通教室に隣接して学年コモンズを配置しています。特別教室も2階同様に、北側に技術室と美術室を配置し、教室前にアートコモンズを整備します。

2階平面図でご説明したラーニングコモンズの上部となる吹き抜け空間の周囲には、生徒が利用できるカウンター式の自習スペースを整備いたします。

校舎西側の南面になりますが、生徒更衣室や進路指導室なども配置しています。

2階と同様、廊下の東、それから西側の端にトイレ及び水飲み場を配置しております。

次のページをお願いいたします。

下の図面が4階の平面図となります。4階も3年生の普通教室を校舎南側に配置しています。同じく普通教室に隣接して、学年コモンズを配置しています。

校舎西側には音楽室とミュージックコモンズなどを配置しています。ミュージックコモンズのエリアは授業中は廊下として開放的に利用しますが、放課後の吹奏楽部の部活動の際は、建具を閉めることでパート練習などのスペースとして利用することが可能です。

3階と同様、ラーニングコモンズの上部となる吹き抜け空間の周囲には、カウンター形式の自習スペースを整備します。また、吹き抜け空間は外部からの柔らかい光を3階、2階ラーニングコモンズに取り入れる計画としております。

3階と同様、廊下の東側、西側にトイレ及び水飲み場を配置しております。

上の図面をお願いします。屋上平面図となります。

主に電気設備や空調機器等の設備置場のスペースとなっております。また、体育館棟には太陽光発電パネル30キロワット程度を設置しております。そのため屋上には生徒が利用するようなスペースはございません。また、校舎の2階、3階、4階の屋根の一部、それから

プール棟の屋根に屋上緑化を計画しております。

次のページは、立面図です。

一番上の図が校庭から見た南立面図となります。普通教室がある校舎南側は採光を取り入れるため、窓を大きく確保しております。図の左側は体育館棟で、壁上部には自然光の取り入れと換気のための連窓を設けております。また、Machi コモンズに面して体育館の出入口を設けております。

その下の図が北立面図です。主に特別教室や廊下の窓が並んでおります。体育館棟北側の壁上部には連窓を設けております。

そして、東立面図でご説明しますが、校舎北側は近隣に配慮し、各階が階段状にセットバックしております。

一番下の図、左側は西立面図です。図の左側は校舎・体育館棟で、右側の平らな建物がプール棟です。校舎・体育館棟とプール棟は Machi コモンズにあるキャノピー、屋根によりつながっております。

右側は東立面図となります。図の右側は北側隣地に配慮し、各階が階段状にセットバックしております。

校舎の外壁色については、隣接する文化会館と調和するようベージュ系を基調とした色を計画しております。

次のページは各部の断面図でございます。断面の位置は右下にある断面キープランをご覧ください。

校舎棟は塔屋を含めた最高高さは 16.7 メートル、4 階までが 13.5 メートル、体育館棟の高さは 11.6 メートルです。教室の天井の高さは 2 メートル 80 センチを確保いたします。屋内運動場はバレーボールコート 2 面が取れる広さを確保し、高さも十分確保しております。

続いて、次のページをお願いいたします。

左の図がプール棟の図面となります。プールは現状と同じ 25 メートルの 6 コースの大きさとなります。プールサイドの周囲には視線に配慮し目隠しフェンスを設置し、プール上部には日よけと目隠しを兼ねた可動式のテントを設置いたします。

プール棟にあるトイレは、プール利用者と校庭利用者が使用できる内外兼用トイレを設置いたします。また、プール棟には防災・備蓄倉庫のスペースを確保し、校庭と Machi コモンズから利用ができる出入口を設けます。

右の図、体育倉庫棟になります。体育倉庫棟にはテニスコート側から使えるテニス用の倉庫、それから校庭側から使える体育倉庫と専用の石灰粉のスペースを設けております。

基本図面の説明については以上となります。

続けてイメージパースについてご説明いたします。資料 3 をご覧ください。

資料 3 の 1 枚目、上のパースになります。こちらは、正門からのイメージパースになります。正門から校舎までの道のりは Machi コモンズが広く設けられ、開放的な入り口となって

おります。

次に鳥瞰図になります。南西側上空からのイメージパースになります。正門から北側に体育館、校舎が並びます。正門の南側にはプール、テニスコートが並びます。そして、正門から Machi コモンズを抜けてグラウンドがあります。

一中の校舎は、全体的に文化会館との調和を考え、文化会館と色合いが近いベージュを基調とした外壁としました。周辺の緑となじむ落ち着いた校舎になります。

次に、グラウンド側の南側から見たイメージパースになります。こちら、校舎棟南側には普通教室を設け、大きな窓を設けました。校舎のグラウンド側1階の外側になります。こちら、東から西までつながる屋根のある通路を設けました。体育館棟とプール棟までつながって設けております。

次に、屋内運動場のイメージパースになります。こちらは、手元資料にはございませんので、前のスクリーンをご覧ください。こちらは、スポーツに最適な高さで広さを十分に確保した空間としました。屋根の側面側に自然光を取り入れる窓を設け、換気にも利用できます。

次に、一中ステップ1階から2階を見たイメージパースになります。一中ステップについては、1階及び2階の一部が発表会等で観覧席としても利用できます。1階、2階には車椅子の方が観覧ができる場所も設けております。日常的に生徒の交流の場となり、より一層コミュニティが広がります。

次に、2階のラーニングコモンズ、3階から2階を見たイメージパースになります。2階から4階まで吹き抜けになっており、4階の窓から柔らかな光が入ります。この吹き抜けを介して、各フロアの多様な空間を連続させることで、生徒自ら学びの場を見つけられることができます。3階の吹き抜け周りには、カウンター形式の自習スペースも設け、より一層学習に取り組める環境になっております。

次に、普通教室のイメージになります。南側には大きな窓を設け、開放的な明るい教室空間となっております。廊下側は多連引き建具を開放することで、隣接する学年コモンズと一体的な利用が可能になります。

最後に、廊下のイメージになります。左側が普通教室、右側が学年コモンズになります。学年コモンズは開放的に利用できることで、グループ学習を展開できる空間となっております。

以上で、イメージパースのご説明を終わります。この後、動画を流します。こちらの動画は、生徒が正門から教室まで行く通学のルート動画を動画にしましたので、前をご覧ください。

(動画上映)

○座長 それでは、議事(2)改築校舎・基本図面、それから議事(3)の改築校舎・パースについて、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○委員 前も何回か言ったとおり、一中ステップの造りが微妙ということで、ご意見をずっとしていましたが、今回もコンセプトに記載の図を見ると、例えば、1階から2階に上がるところの間に座って挟まっている人は完全に挟まっています。あれは立ったら頭をぶつけ

ます。その1階から2階にいく階段下の部分がどこまで行っていいのかどうかというのが、動画でも分からなかったし、人間、階段を上るときに、特にここ段差が大きいので、下を見ると思います。いざ上に上がってみて頭をぶつけるというところがあると思うので、そこが理解できなかったのと、奥のごみ掃除が難しいと思いました。特に、1階は砂ぼこりも入ってくるので、その辺の掃除のしやすさと座りやすさがどうなのかご回答ください。

○事務局 まず、階段自体は、1階の昇降口からこの階段を上がって、向こう側を2階に上がっていくのと、ここから折り返してこの階段を上がってくるという、二つの階段があります。ここについては、基本的には階段状にはなっていますが、実際に階段で上る部分ではなく、座ったりして使っていただくような場になります。発表や、友達同士で語り合っていたくような空間として考えています。

委員のおっしゃる通りここについては、階段下の頭をぶつけるようなところは、壁を設けるとかの工夫が必要になってくると思いますので、そこは施工の中で対策を講じていきたいと思います。施工者が決まったら、具体的に、なるべく空間として使いたいのので、必要最低限の壁をつけるというようなことは検討させていただきたいと思います。

あと、掃除についても、基本的には手が届くと思います。

○委員 そこをどう使うのかイメージがつかなかったので、背の高い生徒が頭をぶつけないか気にしたところです。

○事務局 階段自体はこの奥です。上が抜けているところを立ったまま上がれる階段になりますので、ここの部分は階段というよりは、椅子というような考え方になります。

頭をぶつけないようなところで壁を設けるなど検討させていただければと思います。

○委員 プール棟の平面図で質問です。ソフトの使い方と言われればそうですが、外からも中からもトイレが使えるというご案内がありまして、外から入る人は土足で、プールから入る人は裸足でとなるとと思いますが、どういう分け方をするのか教えてもらえますか。

○事務局 まず、扉が外側から入れる扉と、内側から入れる扉とそれぞれ設けていて、プールを使わないときには、中からシリンダー錠で鍵をかけてプール側に入れないような施錠をいたします。

プールの中の設えについては、外から入る人が靴を脱いでという使い方は非常に使いにくいと思うので、土足で上がる想定をしなければいけないと思います。靴の部分とスリッパの部分というような使い分けをしなければならないと思っていますが、具体的なラインについてはまだ決めていませんので、こちらも施工の段階で調整させていただければと思います。

全部を土足にすると汚れて掃除が大変だと思うので、履き替えるということを視野に入れながら設えていきたいと思っています。

○委員 プールから入る人は裸足で行くと思うのでよろしくお願いします。

先ほど家庭科室のお話で、炊き出し対応があるので1階にしましたとありましたけれども、炊き出し対応なのですか。

○事務局 家庭科室を使うのは、基本的に電気・ガスが供給されているという前提での炊き出しです。基本的に、もし電気・ガスが止まっていた場合は、備蓄倉庫にしまっているガス釜を使って、屋根のある部分で炊き出しをしていただくという想定をしております。

電気・ガスが復旧した場合は、家庭科室を使って、体育館との連携を取りながら対応することを考えています。

○委員 プロパンガスを入れるとかではないということですね。電気、水道、ガスが通っていれば使えるということ。

○委員 図面の2階ラーニングコモンズとありますが、以前の懇談会で下の部分は目隠しをしようという話がありましたが、図面だと全部見えています。今後、その点を考慮されるのかどうか。

それと、防災の炊き出しの件ですが、まず、ガスが使えないという段階では、外でやらなければなりませんので、当然、蛇口の場所の近くでやります。学校のグラウンドの周りで、洗う場所が見受けられなかったのが気になりました。

それから、防災倉庫は外から中に入れるとなっていますが、今、武蔵野市の防災課ではアルストッカーの鍵を避難所運営組織に渡しますということでは言われています。

ということは、これも同じようなことになると思いますので、そうすると外から入ることは簡易にでき、中の物を出しやすいのでこのような形で進めていただければと思います。

○事務局 まず1点目のラーニングコモンズの件です。こちらについては、以前の改築懇談会でお話をいただいておりますが、今回のパースには反映されておきませんが、やはり中学生なのでスカートの問題はありますので、見えないような設えを考えております。

それと2点目の炊き出しの件です。図面が分かりにくくて恐縮ですが、手洗いとか足洗いも設けています。備蓄倉庫の辺が全部屋根がかかっているところになりますので、炊き出し等いろいろなことに使える空間は用意していますので、水道の近いところをうまく利用していただければと思います。

防災倉庫の件は、アルストッカーが建物と一体になると考えていただきたいと思いますので、鍵はお渡しする前提になると思います。防災課には再度確認しておきます。

○委員 以前、1階の地域開放多目的室辺りにPTA室があったと思います。いつの間にか名前がなくなっていますが、PTA室はどこにありますか。

○事務局 PTA室から地域連携室という名前に変えさせていただきました。地域連携室がそういった形で使っていただく部屋を想定しています。

○委員 PTA室という名前が使えないという理由は何ですか。

○事務局 PTAだけではなく、青少協とか地域関係の方々にここで使っていただきたいということで、地域連携室と称しております。

以前にもお話がありましたが、大きさはこれ以上大きくすることが難しいですが、使い勝手として部屋を分けてほしいというようなことがあれば、この中で分けることは可能です。

○委員 以前、クラブの部室みたいなものはないというご回答だったと思うのですが、運動す

る子どもたちが、バットやサッカーボールを置くような場所が、ピロティーの中であるのかをお伺いします。以前ご質問した際は、体育倉庫に置く想定というご回答でしたが、今回はどうなのかということと、水飲み場が2か所あると先ほど教えていただきましたけれども、熱中症対策とか、やはり水分は大事だと思うので、この屋根の下の1か所だけでいいのかというのは気になります。

○事務局 配置図の体育倉庫のところですよ。水飲み場はここに設けさせていただいています。体育倉庫はやはり備品もこの中に収納していただくということを想定して、広さは確保しております。

○委員 今体育倉庫というお話がありましたが、体育倉庫には鍵がかかります。旧校舎の時は、通路と通路の間に屋根があってそこにみんな置いていました。その都度鍵を開けてもらうのは大変だと思います。

ですから、子どもは屋根のあるところに多分置くと思います。

○事務局 そこについては、学校側とも協議をさせていただければと思います。

○委員 井之頭小にあるスポーツ少年団がここでやる場合、今ある結構大きい物置きをどうするのかという話は出てくると思います。

○事務局 今のお話は、小中が共有する間のお話ですよ。この一中の敷地が広いとはいえ、小学生、中学生が共同するとなると、かなり厳しい状況ではございます。

ですので、そのときに、スポーツ少年団の道具も全て学校に置くというのが可能かどうかは、今後検証していかなければいけません、場合によっては、都度持ち帰っていただくというような対応も検討いただかなければいけないと思います。

改築の間は、ご面倒をおかけしますが、ご協力いただければと思います。

○委員 話が一中ステップに戻りますが、以前、一中ステップの仕組みがよく分からないという話で、相当時間を使って説明をしていただいて、私の理解では、1階から2階、2階から3階と上がるのはそう難しいことではないのだと理解しましたが、これは一方通行になるのですか。

○事務局 1階から2階、2階から3階とだんだん人は減っていきますよね。1階から2階に上がっていくのがやっぱり一番多くの方が通るので、1階から2階は2方向、2階から3階も2方向、3階は1方向になっています。

○委員 例えば、具体的に4階にいる3年生が図書館に行く、あるいは3階にいる2年生が音楽室に行くというときに非常に遠回りをしなきゃいけないのかと思ったのですが。

○事務局 一中ステップについては、3階から4階に上がる階段だけが1方向になります。それ以外は2方向あるというふうに考えていただければと思います。

階段はこの1か所だけではないので、この階段だけを使うと遠回りになるということであれば、ここの階段がございまして、この階段をうまく利用していただく。この二つの階段を利用させていただいてと考えております。

避難に関しましては、この二つの階段が使えて、さらには屋外階段になりますが、端っこ

にも階段がありますので、三つの階段を使って、何か災害時についてはそこを使っていたいて避難するということを考えて設計しました。

やはり、当初この階段が非常に分かりにくいというご指摘を受けまして、分かりやすいような絵をつけてご説明をさせていただきました。一つの階段で3学年が一気に上がるには、狭いのではないかというご意見もいただいたのですが、広さについては一定確保しています。この一つの階段で通常の学校の二つ分の階段の広さを設けていますので、子どもたちが朝一斉に登校しても、階段の下で待つというようなことはない想定で造っています。

○委員 体育館の風の部分は、当然、1階ですから、窓を開けて風通し良くするということはできると思います。それと先ほど上のほうの部分も風が開けられると聞きましたので、それはいいと思いますが、逆に冬の寒いとき、空調は対応できるようになっているのかが大切です。

特に、3月の卒業式のとき、どこの学校も旧体育館というのは寒いです。なおかつ、入場しやすいように少し開けます。そこから風が通って来ますから、非常に寒いことがありますけれども、そういうのをうまく風を遮るような形でできるのかどうか。

○事務局 今回、第一中学校は、既存の体育館もそうですが、鉄筋コンクリート造で造ります。屋根については鉄骨造になります。

体育館について、今も空調は入っていますが、新しい学校の体育館はもちろん空調が入ります。体育館の空調については、災害対応のガスヒートポンプ、GHPというものを設えます。今は電気ですがガスになりますので、今よりは改善されると思います。

さらに、建物自体の断熱性も性能が上がっていますので、そういったことも含めて温熱環境については改善されると考えております。

当然、窓を開ければ、暖房をかけていても、寒いのは仕方ないと思います。換気していただくときは換気に徹していただいて、暖めていただくときは暖めるというメリハリをつけて使用いただければと思っています。

○委員 イメージ図の影の位置を見ていまして、例えば、これはどの時間帯なのかなと思って想像すると、かなり朝早い時間帯の影の位置なのかなと思っています。

普段、私もスポーツ少年団などで、大体9時ぐらいから午後1時ぐらいまで、外で見守りをしていることが非常に多いのですが、この影の位置の時間帯では9時の状態ではないと思います。

大体、授業がメインで行われる時間帯と、スポーツ少年団で使っている時間は重なっている状態ですが、校舎が真南を向いていて太陽が正面から照っているような状態で、そうすると特に1階のひさしのところ、すごく長く造っていただいて大変感謝しているのですが、実際問題、本当にこのひさしの中は影になるのかなと疑問に思いながら見ていました。Machiコモンズのところのテラスの部分、非常に大きい屋根のところは、もちろんできると思いますが。

本当に暑さよけという機能が、この構造でできるのかなと不安に思っているのですが、検

証をどのようにされているのかとか、ご検討の経緯を伺えればと思います。

○事務局 太陽光につきましては、やはり夏場は太陽光高い位置にあります。冬場は下がってきます。ですので、季節によって光の入ってくる角度というのは、当然、変わってきます。

ですので、冬場にここで日差しを遮るのは無理だと思います。そういった場合はピロティ一、奥行きが深いところを活用していただく。

校庭利用のためのひさしをしっかりと設けたつもりではありますが、年間を通して日影をつくるというのはやはり限界がございます。ですので、季節によって使い分けをしていただければと思います。

○委員 校舎の周りがどういう感じになるのかなというのが気になっています。北側の音楽室棟は既存で残る。校舎との間というのは、今は何か開けていて通れるようになっていますが、これが建物ができると、納入門というのは通常は開けられていないということですよね。校舎の北側の、多分植栽がくると思いますが、この植栽と体育館棟の今まで広く取れていたところが、ここは例えば子どもたちが侵入していった何かするということができないような感じになりますか。それとも、オープンで、ここは一つ一つ抜けられて校舎の周りを走ろうということが可能になってしまうのかお教えいただければと思います。

○事務局 まず、右上の北の東については、サービスマードというのは、基本的に、ここで給食を運ぶ車がここから出入りします。ここは、朝、牛乳を運んだり、結構早い時間帯に出入りがあると聞いているので、ここは一つのセキュリティを完結したいと思っています。子どもたちが入れないエリア。給食の車ですとか、そういった材料、給食の牛乳ですとか、給食を運んでくる車と、あと、ごみです。ごみ収集車をここに入れるということを考えています。ここは歩車分離をしたいと思っているので、一定、ここでセキュリティを考えています。

あと、北側は音楽室棟のここです。実際には、ここが文化会館とのフェンスになっているので、ここは通れます。

ここも樹木は植えてはいますが、人の行き来はできるということは考えておりますが、ここもあまり広いスペースではないので、隠れる場所になって危険だということであれば、行けなくすることもできます。ここについては、工事の中で実際の距離、樹木との関係で、子どもたちが行くことによって危険を及ぼすのであれば閉じるというようなことで考えていきたいと思っています。

音楽室棟については、やはりこのドライエリアからの避難がありますので、ここは通れるようにぐるっと回れるようなことは考えていきたいと思っています。

あと、ここに堆肥場もありますので、そういったことで行き来ができるような空間として考えております。

○委員 あの堆肥場は、今ある堆肥場とは別の場所ということによろしいですね。

○事務局 別のものです。

○委員 分かりました。そうなったときに、堆肥にするには水が必要になります。引っ越しするまでの間、音楽室棟の1階のトイレから水を使って堆肥をつくと打合せさせていた

だいていますが、その堆肥場の周りに水道はありますか。

○事務局 現状、堆肥場用の水栓を設けていないので、必要であれば設けるように検討させていただきます。

○委員 2階、3階平面図の体育館のすぐ右横に水飲み場があつて、「冷水機」とありますが、今、一中に冷水機はないですね。

○座長 一つだけあります。

○委員 今回、この四角は冷水機1個ということでしょうか。一番使いそうな1階の体育館フロアに冷水機が書いていなかったのも、質問しました。

○事務局 冷水機自体は、工事に入っていませんが、冷水機を置いたときの水、電気、排水関係を設えております。1階のところについても、今、体育館のところに冷水機が置けるようなスペースは確保はしております。冷水機を使うのかは学校との調整にもなりますが、一応、設計上は置けるように準備はしています。

○委員 配置図の資料2音楽室の右のほうです。屋外消火栓新設とありますが、これは新しく新設されるんですか。

南門のところに既存の消火栓があつたかなと思って、これも新設されるのかどうか。それから屋上に緑化とありましたが、水の対応はされているのですか。

○事務局 屋外消火栓については、市の条例の中で設けなければいけない規定がございますので、それに基づいて、足らずの分については新設をさせていただきます。

既存があるということを確認して図面に落としているはずなので、もう1回確認させていただきます。

それと屋上緑化につきましては、水はもちろん用意していますので、大丈夫です。

○座長 一つ質問してよろしいですか。先ほどの体育館の空調で気になったのが、本校舎のほうの空調で、全館一斉になってしまうのか、少し区割りができたりとかするのか教えてください。

○事務局 これから造る学校については、個別でコントロールできるような空調を考えております。光熱水費の問題もありますので、つけたり、切ったりということをしっかり生徒さんたちにもご協力いただかなければいけないので、そういった空調を考えております。

○委員 屋上緑化について、これも例えばプール棟の横の屋上緑化、上がれる場所がありません。要は人が管理するものなのか、管理できるものなのか。校舎のほうの屋上緑化は、多分行けるとは思うのですが、プール棟の横は人が行けない気がして、草ぼうぼうになるか枯れ果てるかになってしまうと思います。

○事務局 屋上緑化につきましては、東京都の条例、それから市の条例に基づいて緑化が必要になってきますので、屋上緑化をしています。

おっしゃるとおり、屋上については、管理をできるようにしなければいけません。見えにくく恐縮ですが、タラップを設けています。ですので、子どもたちは上がれないですが、用務員さんが上がって整備するという想定になります。基本的にはメンテナンスがあまり必

要ない樹種を選んでいるところです。

○委員 仮校舎ができて、冬場になって気づいたことが、南道路の大正通りから入って、左側が先生方の駐輪場、右側が保護者と来客用の駐輪場だったのですが、駐輪してぐるっと東側を回って事務所入り口から入ってくる時の道が真っ暗でした。電気がなくて、足元が全く見えない状態ということが分かったので、新しい校舎の駐輪場、道路に面しているので大丈夫だと思いますが、校舎の周りの電気とか電灯とかは人が通ったらつくようになっていきますか。

○事務局 仮設校舎のその部分については、駐輪場の想定をしていなかった関係で、人が通らないと考えていたので、このようなことが起きておりまして、申し訳ありません。

これから造る学校は、人が通るところは人感センサーで危険がないように、照明は各所必要なところに設える計画でおりますので、そこは大丈夫だと思います。

○座長 議事（２）、（３）については以上といたします。

---

#### ◎議事（４） 今までの意見への回答について

○座長 続いて、次に議事（４）今までの意見への回答について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 それでは、資料４をご覧ください。

令和２年、令和３年、２か年にわたって皆様からいろいろご議論いただいて、ご指摘いただきました。かなりの量がございますので、いくつかご紹介をさせていただきますが、この後、何かその他の部分でご質問等あれば頂ければと思います。

まず、令和２年度分です。７番の安全のところ。歩車分離についてご要望がございました。正門部分は校舎入り口としておりまして、駐車場入り口については、先ほど図面でもご説明しましたとおり、歩車分離を徹底している。あと、給食車両、それからごみ収集車両につきましても、東側の北側からの出入りということで考えております。

この回答が西門になっていますが、正しくは東です。申し訳ございません。

３３番、地域開放です。地域の関係団体が自由に使えるコミュニティールームの設置の要望というところです。開放用多目的室を設えさせていただきました。

３６番、手洗いについてです。衛生管理のため、蛇口については、蛇口のレバーはワンタッチで出せるものにしてほしいというご要望、こちらについては、トイレの蛇口については非接触型の自動水栓としております。

そして、４５番、避難所です。体育館の地下に避難所備品倉庫を設置するというご要望をいただきましたが、バリアフリーの問題もございますので、防災・備蓄倉庫は外から搬入でき、体育館へ運べるように１階に配置をさせていただいております。広さについても１００平米程度確保させていただきました。

続きまして、１ページおめくりいただきまして、８２番です。同じく避難所ですが、屋内運動場と倉庫、トイレとの連携のほか、荷捌きスペースまで総合的に考えて配置をする必要

がありますというご意見。防災・備蓄倉庫への物資搬入動線は西側道路からとなります。防災・備蓄倉庫から体育館への搬入は中からできるように計画をしております。トイレの配置に関しましては、校庭、防災倉庫に近い位置に配置をしております。この災害用のトイレにつきましては、地下のピットに雨水をためて、それをポンプアップして使うような設えで設計をしました。

89 番、同じく避難所の非常時、停電時にもプールの水を利用可能とするよう施設配置と設備を工夫するということで、今の話になりますが、マンホールトイレの洗浄水につきましては、停電時を考慮して、地下の基礎の部分、基礎ピットにためた雨水を利用し、可搬ポンプによる人力で排水させる方式としております。また、プールも近接しておりますので、プールの水利用も可能と考えております。

90 番、避難所本部の設置についてです。こちらについては、避難所の本部につきましては、体育館との連携が良く、かつ運営会議の開催を考慮して、20 人程度が集合できる地域連携室を使っていただくということを考えております。

113 番、緑化・環境です。落ち葉だめは改築後も残してほしいというご要望で、落ち葉だめは音楽室棟の東側付近に設置をしております。

1 枚おめくりいただきまして、番号がありませんが、一番下です。説明会というところです。学校の時計が場所、場所によって時間が狂っているというようなご指摘をいただきまして、新しい学校につきましては、プログラムチャイムにFMアンテナを受信し調整できるようにしております。

次のページ、令和2年度が一番最後です。屋上の使い方、有効な使い方はあるのかというご指摘です。屋上には太陽光発電設備、屋上緑化、空調室外機などの設備機器を設置しております。近隣への配慮と生徒の安全性を考慮し、生徒の屋上使用は考えていないというところでございます。

続きまして、令和3年度分です。

3 番、小中同時利用時のプールの安全性についてです。小中学校同時利用時には、プールについては、物理的にやはり時間的に厳しいということを考えておりまして、小学生については、仮設校舎利用時には外部の利用を現在検討しているところでございます。

332 番、ソーラータワーです。将来、使われなくなってしまうことがないように、運用についてもよく検討をしてくださいというご指摘です。自然エネルギーを恒久的に補助暖房として使用できるシステムでございます。将来的にもしっかりと使っていきたいと考えております。

334 番、音です。吹奏楽部の練習時、音楽室以外の教室にも分散しているようだが、音対策は大丈夫かということです。音楽室、ミュージックコモンズ内は区画し、一定の防音を施しております。ただ、パートごとに分かれての普通教室を使つての練習の場合については、ちょっとそこまで防音対策を講じることはできませんので、そこは運用の中で対応いただければと思います。

336 番、ロッカーです。生徒の荷物が以前より増えてきていることを踏まえた計画としてほしいということで、新しいロッカーにつきましては、生徒 1 人当たり、高さが 80 センチ、幅が 20 センチ、奥行き 40 センチということで、中の板については動かせるものを 40 人分確保しております。ですので、教科書を入れたりとか、コートを入れたりですとか、そういったことにも使っていただけるのではないかと考えております。

1 枚おめくりいただきまして、353 番、内線電話です。アレルギー発症などの緊急時に備え、各室に内線電話をつけてほしいというご要望は、各室に内線電話を設置いたしました。

そして、次のページ、393 番、熱中症対策ということで、校庭での活動の際の日よけです。先ほど図面でもご説明をさせていただきましたが、校舎南側にピロティーがございます。このについては、体育館の見学等でも利用いただけると考えております。

抜粋でご説明をしましたが、説明は以上になります。

○座長 ただいまの説明の内容について、ご質問がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

では、議事（４）についてはこれまでとさせていただきます。

---

#### ◎議事（５） その他について

○座長 次に次第の 5、議事（５）その他です。事務局よりお願いします。

○事務局 最後、資料の 5 というのをご覧ください。第一中学校改築工事全体事業工程表（予定）というのをご覧ください。

以前からご説明をさせていただいておりますが、第一中学校、それから第五中学校の改築事業につきましては、それぞれ井之頭小学校と第五小学校との工事のセットということで、かなりの長期にわたって工事期間がございます。それを現段階で想定している内容についてご説明をさせていただきます。

一番上のステップのところを見ていただくと分かりやすいと思います。現在、令和 4 年度は、ステップの 2 というところで、既存校舎の解体中です。今は西校舎が壊れてきているということで、引き続き、解体工事を来年度まで進めてまいります。

令和 5 年度は、今度はいよいよ新校舎、それから新体育館の建設工事に入っております。こちらについては、今、予定では、入札を 4 月上旬に予定しておりまして、6 月に議会にお諮りして、7 月に正式契約ということで、工事については 7 月から着工の予定ですが、杭等の製作期間等がございますので、最初の 2 か月ぐらいは、現場はあまり動いている状況は見えないかもしれませんが、7 月からいよいよ契約ということで、7 月から令和 6 年度にかけて建設工事を行います。

その工事の下の部分をご覧くださいと思いますが、これもあくまで予定ですが、引越しの時期もここに入れております。1 月頃に引越しをしながら、今度は小学生の仮設校舎の改修等もございますので、そういうことも含めて、6 年度の最後のところで小中が引越しをしたりですとか、仮設校舎の改修をしたりということを予定しております。

この引っ越しにつきましては、かなり複雑、かつ短期間でやらなければいけませんので、来年度、引っ越しの準備のための準備委託というのをやっております。そのプロにいろいろ図面を描いてもらったり、どういった形で進めるとこの間でできるというようなことを、1年かけて準備をしていきたいと考えております。

そして、令和7年、8年、9年、この3か年で、井之頭小学校の改築工事をしますので、この間は中学生は新しい校舎、新しい体育館を使っていただきます。この3年間については小学生が仮設校舎に入って生活をするということで、この間は工事がございません。この間は小学校で工事が発生しているという状況になります。

そして、小学校が令和9年度末に完成をしましたら、小学生が引っ越した後、仮設校舎の解体、既存の体育館の解体ですとかを済ませて、その後、新しいプール棟を造ったり外構工事を進めてまいりまして、令和11年途中の完成という予定です。まだかなり先が長い話にはなりますが、このような全体スケジュールで、今、改築事業を進めているところでございます。

○委員 井之頭小と第一中の入れ替わりのときですけれども、今、PTA室は体育館棟上の小会議室を使っています。新しい校舎ができた時点で地域連携室にPTA室の物も引っ越しということになりますか。それとも、体育館棟が壊されるまで、一中のPTAがそこを使うのか。そうすると、井之頭小のPTAが使う部屋がないので、開け渡してあげなければいけないと思いますので、引っ越しと同時に入れ替えで大丈夫ですか。

○事務局 井之頭小が仮設校舎に引っ越してきたときは、既存の体育館棟を小学生が使いますので、その際に引っ越しをしていただくようになります。

○座長 ただ、先ほどのお話だと、体育館棟のプールだけは中学生が使うということでしたよね。

○事務局 はい。そのとおりです。

○委員 先ほどの番号で90番、避難所の本部は20人程度が集合できる地域連携室、これだとPTA室ですよ。要はPTA室が使っているところを使うということですが、市の防災課と連携していただいて、特別非常用の電話を必ずつけていただきたいと思います。

○事務局 防災課とも協議をさせていただいておりますので、大丈夫です。

○委員 普通教室が各学年5教室になっています。今の中学生の人数推移の予想からして、5教室も使わない気がしますがいかがですか。

○事務局 学校の建て替えにつきましては、全体計画でもお示しをしておりますが、武蔵野市はまだ子どもたちの人口が増えています。それで、建て替えについては、建て替え後の人口推計のピークに合わせて教室を確保することになっています。新しい校舎なのに仮設校舎というわけにもいかないのです、武蔵野市はそういう方針で教室数を確保しております。

ですので、ピークを過ぎると空き教室にはなりますが、これからいろいろな学びの形が出てまいりますので、空き教室をうまく使っていただきながら授業を展開していただくということで考えているところでございます。

○座長 実際、来年度も推計だと4クラスでした。今、ぎりぎり119人で3クラスという状態ではありますけれども、確かに少しずつ増えている気がします。

○委員 確保できているということですね。

○事務局 それでは、最後に一言お礼を申し上げます。令和元年度に武蔵野市の学校16校の全体計画を策定し、その全体計画に基づきまして、令和2年度から、こちらの第一中と第五中の改築事業が始まりました。令和2年度に基本計画、令和3年度に基本設計、そして、令和4年度実施設計ということで、長きにわたりまして改築懇談会の皆様方に多くのご意見、アドバイスを頂きまして、実施設計を何とかまとめることができました。本当に皆様に感謝をしております。

これから工事が始まりますので、工事の中で皆様から頂いたご意見を現実のものとする努力をしながら建てていきたいと思っております。

校舎ができれば、見学会等も予定しておりますので、その際にはぜひ見ていただければと思います。

今年度はこの1回でしたが、改築懇談会も今回で最後ということになります。本当に3年間、どうもありがとうございました。（拍手）

○座長 それでは第10回懇談会を終了いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

○事務局 ありがとうございました。

午後3時48分閉会